永　福

令和５年８月３０日
杉並区立永福小学校

防災意識を高める防災週間に

校　長　入倉　勝

夏休みが終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。今年の夏休みも猛暑となりました。数年前までは、暑さ対策を気にせず行っていた活動も対策なしには行えない気候になってきています。特に屋外で行う活動については、「これまで通り」が通用しないと感じる暑さでした。そんな中でも、夏休み初日の７月 21 日から PTA 主催のラジオ体操が数年ぶりに実施されました。また、学校支援本部 E-ヴィレッジの方を中心に２日間行っていたサマーキャンプも、70 名以上の参加者で実施しました。最終日には地域の方にご協力いただき防災訓練も行いました。どの活動も久しぶりの実施でしたが、子供たちが元気に楽しんでいる姿を見ることができました。ご協力いただきました地域の方、保護者の皆さんに感謝申しあげます。

気象庁からは、９月も例年より気温が高い日が多いとの予報が出ています。夏休みが終わってからも暑さ対策はもとより、子供たちの体調に注意しながら教育活動を進めていきます。

さて、９月１日の防災の日を含む、８月 30 日から９月５日までが防災週間となっております。この夏も台風や大雨が、日本各地を襲いました。特にお盆前後の２つの台風では大雨や強風による被害を目の当たりにし、自己の危機意識を高めること、日常の備えと地域及び関係機関との連携の重要性を改めて強く感じました。関東大震災から 100 年が経過し、首都圏直下型地震や南海トラフ地震の発生も懸念されています。先日、東京消防庁の方と話をする機会があり、「減災」という言葉を知りました。減災とは 1995 年に発生した阪神・淡路大震災の経験から生まれた取り組みで、「災害は起きるもの」という考えを前提とし、災害による被害をできるだけ小さくするための事前対策だそうです。大きな地震が起きた時、「自らの命は自らが守る」、そして「自身が無事であったなら、同じ場所に居合わせた人のことを気づかう」という「自助・共助」の意識のもと、「減災」を目的とした事前対策が大切になってきます。事前対策の１つに「防火防災訓練に参加する」があります。いざというときに、より適切な行動がとれるよう、近隣の方と共に、防火防災訓練に参加することで、身体防護、初期消火、通報連絡、避難要領を身に付けることができます。他にも家具類が転倒・落下・移動しないように対策すること等があります。

学校では、毎月の避難訓練をはじめ、交通、生活、災害について、安全教育を進めているところですが、「減災」という視点で、今一度、家庭における防災対策について話し合い、防災意識を高める防災週間にしていただければと考えております。

9月の生活目標『生活にけじめをつけよう』

楽しかった夏休みも終わり、いよいよ２学期がスタートしました。２学期は学期の中で一番長い期間の学習になり、学習発表会や永福マラソン等の行事も予定されています。夏休みの生活から学校生活のリズムに早めに整えられるよう、授業と休み時間の切り替えや廊下の歩き方など、ルールを改めて確認し、落ち着いて学校生活が送れるように指導していきます。

ご家庭でも、早寝・早起き・朝ご飯を食べるなど生活のリズムが整うよう、ご協力よろしくお願いします。